

授業概要

留学生対象のクラス（全4回の第1回）。人間文化学科に所属する5人の教員が「日本語・日本事情」をテーマに、それぞれの専門分野（古典文学、メディア、言語、近現代史、古代・中世史）に即して留学生向けに講義する。日本文化の理解を深めたい留学生も、日本語の力を養いたい留学生も、ぜひ履修してほしい。

授業計画

第1回	高山 ガイダンス、新聞の読解
第2回	高山（1）漫画の読解—『鬼滅の刃』第1話
第3回	穴井（1）現代語訳で古典文学を読む—源氏物語—
第4回	穴井（2）現代語訳で古典文学を読む—伊勢物語—
第5回	高山（2）漫画の読解—『呪術廻戦』第1話
第6回	岡田（1）日本のメディア環境
第7回	岡田（2）インターネットは世界をつなぐ？
第8回	高山（3）漫画の読解—『逃げ上手の若君』第1話
第9回	高山（4）漫画の読解—『チェンソーマン』第1話
第10回	福島（1）日本近代の特質①—日本の近代化を特徴づけたものは何か
第11回	福島（2）日本近代の特質②—明治日本の知恵を探る
第12回	高山（5）漫画の読解—『葬送のフリーレン』第1話
第13回	湯浅（1）古代史これだけは（縄文・弥生・古墳、律令制、摂関体制）
第14回	湯浅（2）中世史これだけは（院政、鎌倉幕府、室町幕府、戦国大名）
第15回	高山（6）漫画の読解—『ダンジョン飯』第1話
第16回	レポート試験

到達目標

日本文化を理解するのに必要な日本語の「読む」「書く」「話す」「聞く」能力を身につける。
日本文化（歴史、文学、言語、メディア）について幅広く関心を持ち基本的なことについて理解している。

履修上の注意

留学生対象のクラスである。授業に積極的に参加し、遅刻や欠席をしないようにすること。担当者ごとに20点満点で採点するので、全7回の担当者なら1回3点弱相当、全2回の担当者なら1回10点相当の価値があるという計算になるため注意すること。

予習・復習

シラバスに記載されたキーワードについて調べておくことが予習になる。また、各担当者の指示に従って課題を提出したりすることが復習になる。

評価方法

5人の担当者がそれぞれの担当回で評価し（20点満点）、それらを単純に合計して全体評価とする。評価する項目は、授業態度、課題、レポート課題などがありうるが、担当者によって異なる。期末筆記試験は実施しない。レポート課題が課される場合、担当者ごとに提出の方法や期限について指示する。

テキスト

統一テキストは使用しない。教材は各担当者が授業内で配付する。